

「なくそう！ 子どもの貧困」全国ネットワーク 2013 年度活動方針案

2013 年 6 月 8 日

私たちは、日本における「子どもの貧困」を社会問題としてとして受けとめ、子どもの貧困問題を解決するための取り組みをより活性化させるため、2010 年 4 月、「なくそう！ 子どもの貧困」全国ネットワークを設立しました。その際、私たちは 2010 年を「子どもの貧困解決元年」とし、ねばり強く活動を継続していくことを決意しました。

設立から 3 年余りの歳月が経過し、メーリングリスト加入者は 1362 人（2012 年 6 月 6 日現在）となりました。また、ホームページのアクセス数は 60745 件（2013 年 6 月 5 日現在）を超え、あらためて社会的責務を実感するところです。

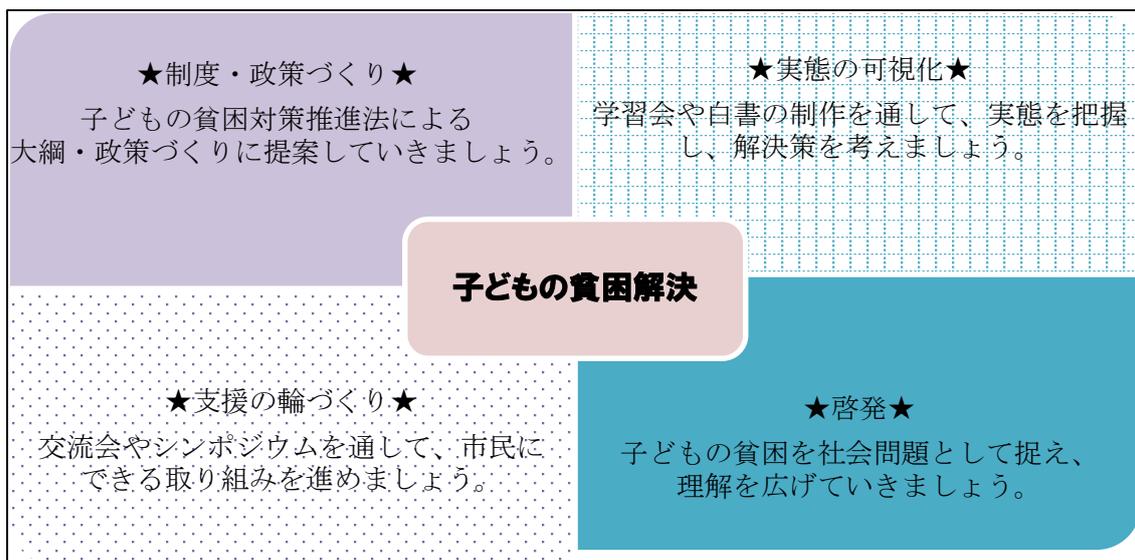
2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災は、地震・津波に加え原発事故という非常事態を巻き起こし、今なお、甚大な影響を人々に与え、貧困問題を深刻化させています。「子どもの貧困解決」と「被災者・被災地支援／復興」は、私たちのネットワークにとって、これかれも重要課題として認識していかなければならないものです。

そのようななかにあって、2013 年に入り、子どもの貧困対策法制定の動きが加速化し、5 月 31 日には衆議院厚生労働委員会にて与野党案が修正・一本化され、全会一致で可決されました。その後 6 月 4 日には、衆議院本会議にて全会一致で可決され、引き続き参議院で審議が行われる段階にまで至りました。「なくそう！ 子どもの貧困」全国ネットワークは、発足以来、総合的な子ども貧困対策と政府における審議会の必要性および子どもの貧困対策法制定の必要性を訴えてまいりましたが、2013 年度は新たなステージに移行する重要な節目となります。

本総会を 4 年目の出発点として、子どもの貧困解決に取り組むさまざまな個人や団体と連携して、子どもの貧困解決に関係する多様な領域をつなぎ、子どもの貧困をなくす活動を継続的に発展させてまいりましょう。

2013 年度の活動方針案

<活動の柱>



★制度・政策づくり★

- ① 子どもの貧困対策推進法が実効性のある政策への機動力となるように、大綱や基本方針策定に向けて、政策提言をしていきます。
- ② ①を進めるにあたって、学習会やディスカッションを通じて関係団体や個人とネットワークを進めていきます。
- ③ 子どもの貧困率の削減目標と行動計画を策定するよう、国に対して、引き続き働きかけます。
- ④ 生活保護法改正、生活保護基準の切り下げとその影響について、子どもの貧困解決の視点から注視していきます。就学援助制度への影響など、地方自治体の動向を踏まえた働きかけを行います。

★実態の可視化★

- ①連続セミナーやシンポジウムを開催し、子どもの貧困に関わる現実を学び、参加者で討論しながら今後の方向性を検討します。
- ③子どもの貧困の実態を包括的に捉え広く社会全体に広めるために、子どもの貧困をテーマとした白書等の制作を検討します。次年度以降の子どもの貧困対策推進法の施行に向けて、必要とされる事柄を可視化することがポイントです。

★支援の輪づくり★

- ①支援者相互の交流の場を設けていきます。
- ②若者の声や願いに耳を傾け、若者発の活動を応援していきます。
 - ⇒子どもの貧困の問題に関心を寄せる若者たちと協働し、若者の声を社会に発信するための取り組みを企画
 - ⇒ネットワーク会議を通じた交流の促進

★啓発★

- ①子どもの貧困が個人の責任の問題ではなく社会問題であるという認識の共有と、その解決に向けた社会的合意を形成するために努力します。
 - ⇒メーリングリストの活用
 - ⇒リーフレットの普及・活用
- ②当事者／支援者が活用できる制度や相談先の情報を掲載した「子どもの貧困サポート情報提供ホームページ」の充実を図ります。